

— 剛志学府連携協議会から — 「剛志学府」境西中学校区連携協議会開催

令和5年度第3回境西中学校区学校運営協議会を令和5年11月24日(金)に、境西中学校図書室において開催しました。今回は「剛志学府」境西中学校区連携協議会として、境剛志小学校評議委員と境西中学校運営協議会委員が合同で会議を行いました。出席者はまず校内見学をし、生徒の活動の様子をご覧いただきながら協議会にうつりました。始めに、小・中学校の取組と課題について、各校長先生からご説明をいただきました。次に剛志学府の取組と課題について、井野公民館館長様からご説明をいただきました。それぞれ説明いただいた取組や課題をもとに、2班に分かれて班別協議を行いました。協議議題は『地域から見た子ども達の現状について』です。各委員の皆様から感想や質問、ご意見を多数いただき、とても充実した会議となりました。

1、各学校の取組と課題について

(1) 境剛志小学校 学校運営の現状や取組・課題について

(三木校長)

2学期は大きな行事(陸上記録会、運動会、修学旅行、校外学習、マラソン大会)が続き、慌ただしい日々が続いていましたが、子ども達は一生懸命取り組んでいました。毎日の授業にも落ち着いて真剣に取り組んでいます。現在、コロナ感染症は落ち着き、インフルエンザ罹患者が増えており、感染拡大対策をとりながら、子ども達の安心・安全を守っています。

4月から『「楽しい」「面白い」「うれしい」の気持ちがあふれる学校』を目指して取り組んでいます。教職員は、子供を否定することなく肯定的・共感的に見守っています。一人ひとりの良い所、できるようになったことを全体の前で褒め、認めることで、全体を引き上げていく指導をしています。



学校評価アンケート(1学期後)結果より

- ・「学校は楽しい」と97.3%の児童、「子どもは楽しく学校に通っている」と98.3%の保護者の回答をいただきました。昨年度2回目にとったアンケート結果と比べると、どちらもポイントが上がっております。
- ・家庭学習については目標とされるいくつかの項目(家庭学習時間など)が下回っています。より良い境剛志小を目指すため、夏休み以降、全職員でこの結果を共有して改善に取り組んでいます。

課題

子ども達は概ね落ち着いて学校生活を送っていますが、やはり個別に見ると、学習面・生活面で課題を抱えている子どももいます。教職員が情報を共有し、改善のための指導を粘り強く続けています。また、学校だけでは指導が難しい時は、保護者の方とも連携をとり、子どもの成長を見守るようにしています。

(2) 境西中 学校運営の現状や取組・課題について

(梅堀校長)

本校の基本目標は『笑顔あふれ活力ある生徒の育成』として取り組んでいます。その中で、2学期の目標を『自信と誇りを持った2学期にしよう』と掲げました。2学期は大きな行事(2年生のチャレンジウィーク、生徒会役員選挙、文化祭、弁当の日)や部活動の大会が続きました。生徒達はこの目標に向かって、自分を良く見つけ、できると信じて努力し頑張っていました。

また、『生徒の命と安心・安全』を守り通すことを教職員、生徒達と確認しています。交通安全、学校事故、感染症対策についてです。交通安全については、毎日の登下校時に教員が門の所で指導をしたり、地域の方から自転車の乗り方について情報をいただいた時には、適宜指導を繰り返したりしております。また、ICTを積極的に活用しており、タブレットは生徒の文房具のひとつとなっていると言えます。

学校行事より



- ・2年生のチャレンジウィークでは、地域の協力を得て、18事業所で参加させていただきました。学校では体験できないことを、自分でよく考えながら行動することができました。また、大人と関わることでコミュニケーション能力も上がりました。
- ・合唱コンクールでは、昼休みの練習など、生徒主体で取り組んでいました。3年生が思い残すことなく、一生懸命歌っていて、本当に良かったです。
- ・境西中の伝統でもある「弁当の日」を文化祭の日に行いました。家庭科の授業では、調理場の栄養士さんから栄養について学び、メニューやお弁当のレイアウトを考えました。どの生徒も楽しそうに、作ってきたお弁当を食べていました。

ICT活用状況より

- ・タブレットを使ったAIドリル「キュビナ」学習を行っています。3分の1の生徒がほぼ毎日使っており、基礎基本の定着につながっています。
- ・学習だけでなく、生徒会選挙の立ち会い演説でも活用し、投票も行い、即日開票できました。

課題

- ・9年間同じ友達と関わるので人間関係が深まり、また異学年交流も盛んですが、縦の関係が他校よりない感じます。
- ・人間関係が固定化しており、言われなくても分かってしまうので、他者とのコミュニケーション能力が低くなる心配があります。
- ・生徒達は素直で落ち着いています。言われたことはするけれど、自分から進んで行動するという、自主性にやや課題があるように思えます。

2、剛志学府（学府連携協議会）の取組と課題について

（井野館長）

剛志地区から、社会福祉協議会へフードドライブを行いました。物価高騰の影響がありましたが、剛志小（運動会当日実施）、境西中（10/18と19の2日間実施）、公民館（10/1～24までの15日間実施）で合わせて242個の食品や日用品を寄付してきました。

ご協力ありがとうございました！



3、班別協議

議題をもとに協議を行いました。委員の皆様からたくさんのご意見をいただきました。

議題：「地域から見た子ども達の現状について」

〈挨拶や言葉遣い〉
〈交通安全〉
〈地域行事への参加〉

身につく力

コミュニケーション力、道徳性
主体的に自分の安全を守るか
コミュニケーション力、主体性

- ・地区行事（こども八木節、境マラソン大会など）への中学生の参加は見られず、少子化を感じます。
- ・小学校のマーチングクラブがなくなってしまい、地域の行事への参加がなくなってしまったのは、残念。
→人数が集まらず、また今後も児童が増える見込みはないので、マーチングクラブとしての活動はできませんが、音楽クラブで楽器の演奏を楽しんでいます。
- ・登校時に旗振りの方が見守ってくださっていますが、旗が上がっているから渡るのではなく、自分で安全を確かめて判断できる力を、子ども達に身につけてもらいたいです。
- ・子ども達が交通ルールを守っていても、車の運転手が危険運転をしている時も見かけます。ガードレールの設置を市に要望していますが、学校からも要望をお願いしたいです。
- ・今年度、野球部は部員数が少なく、他校の野球部と組んで大会に出場しています。年度によって、組む学校が変わるのではなく、拠点校制度のような形をとることはできないのでしょうか。
→市は部活動の地域移行化をメインに考えているようですので、境西中だけで拠点校制へ動くのは、難しいのが現状です。
- ・他校と一緒に部活動を行うことは、コミュニケーション能力が上がるのではないのでしょうか。
- ・「中学校を卒業し、子ども達が大きな集団に出て行ったときに、どのような行動をとれるか。」という視点を持ちながら、小規模校の良さを生かしつつ学校運営をしていって欲しいです。
- ・青少年推進委員会では、青色防犯パトロールを行っています。どういう場所をパトロールして欲しいか、学校から要望があればあげてほしいです。

4、その他 諸連絡

- ・第4回定例会（境西中学校区連携協議会）
令和6年1月31日（水） 14：00～15：30 境西中学校
会議室において

新しい試みとして、次回の運営協議会と書き初め大会の実施日が合えば、書き初め作品の審査を、運営協議会委員の皆様に行っていただけたらと考えています。

